

(一財)宮城県剣道連盟創立70周年記念 作品コンクール入賞者一覧

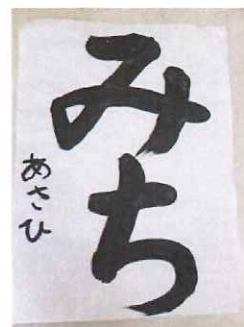
※学年は令和4年度

【最優秀作品】

<写真> 花釜 幸 「三本木のゆかいな仲間たち」(一般・三本木館山剣道スポーツ少年団)

<絵画> 大友咲希 「勝負」 (名取市立下増田小学校4年・名取市剣連)

<書道> 今野あさひ「みち」 (仙台市立広瀬小学校2年・愛子少年剣友会)



<作文> 天野慧海 「剣道を始めて良かったこと」(仙台市立長命ヶ丘小学校6年・あらた道場)

僕が剣道をやって良かったことは大きく分けて3個あります。

1つ目は体が予想以上鍛えられた事です。知らず知らずの間に足の筋肉が鍛えられてそれにより跳躍力が上がりました。それによって立ち幅跳びや走り幅跳び、反復横跳び、50m走など生活に使えるスポーツがより得意となり学校でのモチベーションも上がりました。

2つ目は作法についてです。剣道は日本の格闘技ということで、道場に入るときに礼をする。座り方と立ち方。など作法がたくさんありました。その中でも不思議だと思った作法は、立礼です。立礼は相手への敬意を示す動作で、それにはちゃんとした形があります。僕はその中で「なぜ相手と戦うスポーツなのに、敬意を表しているの?」という疑問を、始めたころは抱いていました。そこで、稽古している相手が面をつけ直した時にたまに先生が言っている「せっかく練習しに来ている相手に迷惑をかける」という言葉に注目しました。そこで思ったのが、一緒に稽古をしてくれる相手がいるからこそ自分を高めていくことができるから、その相手を尊重して感謝の気持ちを表すのではないかということです。そのことに気づいてから日常でも相手の意見をいつもより聞くようになりました。

3つ目は、色々な経験ができたということです。最初に剣道を始めたときは、楽しい経験ができるということだけを考えていました。もちろん楽しいこともたくさんありましたが、そのほかにもルールを守る事だったり、話を聞く力だったり、集中力などが剣道では重要になってくることが分かりました。

それらのことは学校活動などでも、特に先生や友達との関わりの中で生かせました。道場は、剣道を学びたい色々な年齢の人が集まってくるので、友達が増えます。その友達と上手く接するというのは難しいことでした。学校と違い、先輩や後輩がいるからです。後輩は僕より年齢が高い人もいるし、先輩は僕より年齢が低い人もざらにいます。そういう仕組みの中誰でも関係なく接するのは、僕には難しいので、それを課題にしたいです。さらに先輩や先生は礼儀を働かせないといけないので、自然に剣道をやっている中で礼儀が身についてきて学校でも自然に礼儀ができるようになり、近頃は先生に褒められることも多くなってきました。

以上のように僕は剣道を始めて良かったと思うことはたくさんあります。剣道を始めていなければ身につかなかったスキルもあると思います。これらのことを学校生活により良く繋げていけたらなと思います。

【優秀作品】

<作文>

- 小1：柏葉安親「ぼくと剣道」（仙台市立広瀬小学校1年・愛子少年剣友会）
- 小2：門間瀬音杜「はじめての大会、はじめての1本」（仙台市立荒町小学校2年・あらた道場）
- 小3：佐藤佳乃子「剣道に入って良かったこと」（亶理町立亶理小学校3年・亶理町少年剣道錬成会）
- 小4：齊藤千夏「わたしと剣道」（仙台市立栗生小学校4年・愛子少年剣友会）
- 小5：千葉沙月「剣道をしていてよかったこと」（仙台市立六郷小学校5年・六郷スポーツ少年団剣道部）
- 小6：佐々木りく「『夢実現』に向かって」（大崎市立古川第五小学校6年・三本木館山剣道スポーツ少年団）
- 中1：今野 錬「千日の努力」（仙台市立広瀬中学校1年・愛子少年剣友会）
- 中2：二瓶瑞穂「本当の私」大崎市立古川西中学校2年・古川西中学校剣道部）
- 中3：福沢壮之助「剣道を通して学んだこと」（仙台市立南中山中学校3年・あらた道場）
- 大・一：及川直人「剣道の教育的価値」（蔵王町立宮中学校教諭）

<写真>

- 中2：村上頼人「日常」（蔵王町立宮中学校2年・宮中学校剣道部）

<絵画>

- 小3：相澤青輝「面打ち」（仙台市立六郷小学校3年・六郷スポーツ少年団剣道部）
- 小4：菊池泉希「メーン！」（仙台市立加茂小学校4年・台原体振少年剣道部）
- 小5：蟹澤心陽「手で打つな足で打て、足で打つな腰で打て、腰で打つな心で打て」
（仙台市立若林小学校5年・あらた道場）
- 小6：佐藤 匠「出ばな面」（富谷市立日吉台小学校6年・富ヶ丘剣友会）
- 大・一：大内利絵「親子の絆」（高砂剣道教室）

<書道>

- 小1：合津怜音「竹刀」（富谷市立富ヶ丘小学校・あらた道場）
- 小2：佐々木愛輔「かつ」（仙台市立高砂小学校2年・高砂剣道教室）
- 小3：青田滯希「剣道」（亶理町立逢隈小学校3年・逢隈少年剣道錬成会）
- 小4：菅原 慧「心気力」（仙台市立長命ヶ丘小学校4年・あらた道場）
- 小5：菅原 儀「至誠」（仙台市立長命ヶ丘小学校4年・あらた道場）
- 小6：平山雄登「剣」（山元町立山下第一小学校6年：山元剣道スポーツ少年団）
- 中1：佐藤倫彰「剣」（蔵王町立宮中学校1年・宮中学校剣道部）
- 中2：菊地綺音「克己心」（岩沼市立岩沼北中学校2年・岩沼北中学校剣道部）
- 高1：酒井頭太郎「錬磨」（築館高校1年・築館高校剣道部）
- 高2：及川大地「姿勢」（築館高校2年・築館高校剣道部）
- 大・一：今野まどか「錬心養気」（愛子少年剣友会）

【佳作】

<作文>

- 小1：相原太治「剣道をはじめたきっかけ」（仙台市六郷小学校1年・六郷スポーツ少年団剣道部）
岩佐純怜「けんどうをやっています」（山元町立山下第二小学校1年・山元剣道スポーツ少年団）
- 小3：伊藤晴太郎「し合に出たい」（仙台市立南吉成小学校3年・あらた道場）
岩佐有清「けんどうのぼくのこと」（山元町立山下第二小学校3年・山元剣道スポーツ少年団）
- 小5：五十嵐晟羽「剣道で学んでいること」（仙台市立北中山小学校5年・あらた道場）
- 小6：高田一磨「剣道の良さ」（仙台市立大野田小学校6年・六郷スポーツ少年団剣道部）
及川文陽「剣道で見つけた目標」（仙台市立蒲町小学校6年・七郷少年剣道クラブ）
佐藤凱斗「剣道を通して学んだこと」（仙台市立七郷小学校・七郷少年剣道クラブ）
海老沢太一「剣道をはじめて」（仙台市立南中山小学校6年・あらた道場）
- 中2：大須賀昊優「仲間の大切さについて」（仙台市立高森中学校2年・あらた道場）
阿部蒼大「経験」（仙台市立根白石中学校2年・あらた道場）
- 中3：蟹澤逸平「剣道を通して学んだこと」（仙台市立八軒中学校3年・あらた道場）
- 大・一：佐藤裕之「剣道と剣道部から気持ちを離さない」（大崎市立古川西中学校教諭）

<写真>

- 中2：佐藤由悟「高みを目指す一人の剣士」（蔵王町立宮中学校2年・宮中剣道部）
- 大・一：猪俣三夫「小さなライバル」（多賀城大代剣道教室）
佐々木ちづる「ぼくのデビュー戦」（三本木館山剣道）
古川昭夫「全日本剣道連盟居合」（立志会）

<書道>

- 小1：合津采音「克己」（富谷市立富ヶ丘小学校1年・あらた道場）
- 小2：高橋洗裕「竹刀」（栗原市立築館小学校2年・築館剣道スポーツ少年団）
- 小3：三浦笑里「道合」（伊里前小学校3年・道合剣道）
千葉克己「一本」（仙台市立六郷小学校3年・六郷スポーツ少年団剣道部）
佐藤恭典「面」（山元町立坂元小学校3年・山元剣道スポーツ少年団）
- 小4：星 絢心「残心」（亶理町立亶理小学校4年・亶理町少年剣道錬成会）
笠原理玖「竹刀」（栗原市立築館小学校4年・築館剣道スポーツ少年団）
- 小5：今野 頼「平和」（仙台市立広瀬小学校5年・愛子少年剣友会）
佐藤佑樹「竹刀」（栗原市立築館小学校5年・築館剣道スポーツ少年団）
櫻井瑛都「勝利」（仙台市立中野栄小学校・高砂剣道教室）
- 小6：大内楽斗「剣」（仙台市立新田小学校6年・高砂剣道教室）
鈴木土生「熱」（仙台市立田子小学校6年・高砂剣道教室）
森田陽介「剣気体」（仙台市立錦ヶ丘小学校6年・愛子少年剣友会）
- 中1：笠原琉衣「修練」（栗原市立築館虫賀港1年・築館剣道スポーツ少年団）
- 中2：平間巧人「十年一剣」（蔵王町立宮中学校2年・宮中剣道部）
- 高1：酒井優介「錬磨」（築館高校1年・築館高校剣道部）
- 高2：佐藤智浩「姿勢」（築館高校2年・築館高校剣道部）
- 大・一：遠藤嘉志子「武」（三本木館山剣道）
：宇都宮弘和「剣道耕人」（河北剣道スポーツ少年団）